



# 柏葉

平成31年  
4月20日 第1号  
編集責任  
校長 小川 雄一郎



## [福島中学校学校教育目標]

「自らの考えを持ち、共に学びあい、豊かな人権感覚・実践力を身につけた生徒の育成」

### [目指す生徒像]

- 基本的な生活習慣（あいさつ、時間、清掃など）を身につけている生徒
- 主体的、積極的に学び、自己実現に向け、自ら努力する生徒
- 生命や人権を尊重し、思いやり協力して物事に取り組む生徒

### [本年度の重点目標]

「主体的に考え、行動できる生徒の育成」→『考動』

- ・ 聞く・読む・書く・話す（伝える）力の育成
- ・ 目的意識・時間意識・相手意識の高揚

「切磋琢磨」

## ○ 平成31年度 スタート！

4月9日に行った入学式で、新入生112名を迎え入れました。担任の先生の呼名に対し、大きな声で元気よく返事をする新入生の姿がとても印象に残っています。112名の新入生、138名の2年生、113名の3年生がそろい、合計363名で平成31年度新学期がスタート。

昨年度言い続けてきた「考え動く」を継承しつつ、本年度は「主体的に考え、行動できる生徒の育成」を重点目標として掲げ、そのために「聞く・読む・書く・話す（伝える）力の育成」「目的意識・時間意識・相手意識の高揚」を目指していきたくと考えています。重点目標にかかる「目的意識・時間意識・相手意識の高揚」について、入学式校長式辞の中で、次のような話をしています。

<入学式校長式辞より>

### 「相手のことを考える」(相手意識)

皆さんは、一人ひとり性格も得意なことも違い、それぞれの個性を持っています。もちろん、考え方や感じ方も違うはずで、そこで、大切になるのは相手の立場になって物事を考えること。「こんなことを言ったらどう思うだろうか？こんなことをしたらどう思うだろうか？」と、一呼吸おいて考えることで、相手を思いやることに繋がり、相手を認め、よりよい友だち関係を作ることになります。

### 「時間を考える」(時間意識)

皆さんには、平等に、ただし、限られた時間が準備されています。その時間を有効に使うために、「見通しをもって」生活をしてください。明日は何があるのか、から始めましょう。そうすれば今日何を準備すればよいかわかります。日々積み重ねることで、物事に計画的に取り組めるようになり、充実した中学校生活が過ごせます。

### 「意味・目的を考える」(目的意識)

先月、現役を引退したイチロー選手が練習の取り組み方についてこんなことを語っています。「同じ練習をしていても、何を感じながらやっているかで、ぜんぜん結果は違って来る。」と。「何を感じながらやっているか」というのは、「何を目的に練習をしているのか、この練習にどんな意味があるのかを考えること」と言い換えることができます。給食時間に歩き回らず静かに待つのはなぜか、今日の授業の目的は何か・・・イチロー選手が語っているように、活動や物事の意味・目的を考え、取り組んでいる人は、必ず成長していくでしょう。

子どもたちの成長のために、職員一丸となって取り組んでいきますので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

